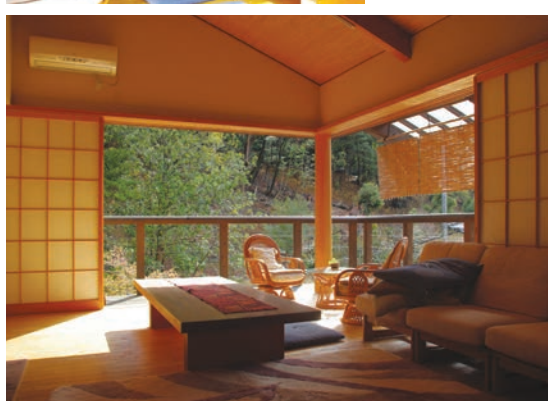




桜が満開となり、少し汗ばむくらいの日にはI様邸にお伺いしました。途中、観光客もカメラを片手に桜を撮っていました。

I様とは、20年ほど前に母屋を設計させて頂いたのが縁で知り合いました。友達が多く母屋の北側に離れを建てお友達をもてなしたいので小さくても豊かな建物をお願いしたい、との事でした。この辺りは非常に景観がよく、四季を通して季節を楽しむ家を御施主様と一緒に造りました。それから8年が経過し、久しぶりに感想を聞かせて頂きました。遊びに来られた友達は皆さん素晴らしい景色と居心地のよい空間に感心されました。



木のすまい仕様の家 「小さくても豊かな家」

す。とお話しになりました。

1階は駐車場とし、露天風呂を東側に作られていました。ご主人作です。檜の浴槽につきり、そこから見える景色もパツグンです。2階はリビングと客間です。冬に備えて薪ストーブがあります。薪は台風などで倒れた木々をもらっているそうです。薪ストーブ1台で充分暖かく、床のカバ桜は素足でも冷たくないそうです。夏は風もよく抜け、天井に張ったヨシは視覚的にも涼しく感じられるそうです。壁の珪藻土は調湿してくれて部屋もカラッとしているとの事でした。経年変化で木の色も銝色になり、いい味が出てきています。

これからお友達とこの離れを通して、楽しい思い出を作っていたきたいと願っています。

季節に応じた暮らし方。

夏を涼しく暮らすためには緑のカーテンで日差しを遮断したり、冬暖かく過ごすために日差しを室内に取込んだりと、自然の恵みを活かして、季節に応じて暮らしを変えることはとても重要なことです。

自然の力を活かそうとする場合、スイッチ一つで快適にすることはできません。夏になると衣替えをするように、家にも衣替えが必要です。窓の外にすだれを掛けるのも衣替えの一つです。昔の家では、襖を風のとおりやすい簾戸に交換するなどの工夫をしていました。

窓の開け閉めを例にすれば、心地よい春には、花の香りとともに風を家に取り入れて楽しんだり、夏の日中には熱気を入れないように窓を閉じたりします。また、夏の夜は冷気を取り入れるために開放します。冬はもちろん窓を閉じて、日差しをふんだんに取り入れればよいのです。これらは難しいことではありません。四季を楽しむ暮らしそのものが、自然とともに暮らすことにつながるのです。

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

【兵庫県林務課からのお知らせ】

県産木材利用融資制度等のご案内

【融資制度の概要】

●新築・増改築

最高融資額：2,700万円(返済期間25年以内)

●リフォーム

最高融資額：900万円(返済期間10年以内)

※融資の金利は平成23年度上半期1.6%固定。

融資制度に、県産木材を60%以上使用した認定長期優良住宅について、返済期間を35年以内に延長する制度を追加しました。

また、平成23年度は木材の使用量に応じて最大40万円の補助金を交付する制度も出来ました。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

兵庫県 特別融資 補助金制度 [検索](#)

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

●ひょうごの木で家を作る『家づくりセミナー』(第11期)

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいライフスタイルを提供します。計5回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

・開催日

- 【第1回】H23年 7月30日(土)
- 【第2回】H23年 8月27日(土)
- 【第3回】H23年 9月24日(土)
- 【第4回】H23年 10月29日(土)
- 【第5回】H23年 11月26日(土)

・時間 13:00~15:30

・費用 1,000円/回

・場所 神戸 兵庫県民会館

※詳しくはお問合せ下さい。



小冊子

「キノコトイェノコト ひょうご2011」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されています。ひょうご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

※小冊子「キノコトイェノコト」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。

